

# 三重病院ニュースレター



N E W S L E T T E R vol.137



|   |      |
|---|------|
| 平成23年 今年の目標                                   | 1ページ |
| 〈平成23年 今年の目標つづき〉／三重病院“ミニ・ニュース”／今月のイチオシ図書      | 2ページ |
| 糖尿病ワンポイントアドバイス「禁煙のススメ」                        | 3ページ |
| アレルギー教室のクッキング／植物を探せ!vol.16／外来からのお知らせ／外来診察のご案内 | 4ページ |

## 平成23年 今年の目標



新病棟完成イメージ

国立病院機構三重病院 院長 庵原俊昭

### 「皆さん、明けましておめでとうございます。」

新年を迎え、皆さんは新しい目標を立てられたことと思います。恒例の三重病院長の今年の目標を、①診療機能、②臨床研究、③教育研修、④情報発信の4つの面からお伝えします。

今年の診療機能面のトピックスは、何といても「新しい病棟の建設」でしょう。当院の病棟は、山鳩病棟(7病棟)を除くといずれも昭和40年代に建てられたものです。色々と手が加えられ、一見するとまだまだ使えそうですが、築50年が経過しています。冬「鈴鹿おろし」が吹くとすきま風が入り、夏「台風が来る」と雨漏りがする建物です。外来と病棟をつなぐ廊下は冷暖房が届かず、特に冬の夜に入院される方には不評でした。今年の3月から工事が開始され、12月には建物ができあがり、平成24年1月から新しい病棟を運用する予定になっています。期待してください。

新しい病棟には個室を増やすとともに、大部屋も現在の6人部屋から4人の人がゆったり入院できる部屋に生まれ変わります。スタッフステーションを明るくし、病棟から手術室、検査室、レントゲン室への導線も短くなります。リハビリのスペースを充実させることも計画しています。理学療法、作業療法、言語療法など充実を目指したいと思っています。新しい病棟ができると、一層地域連携が進むと期待しています。新しい病棟で楽しく働きましょう。

病棟の工事が始まりまると、工事車両の進入とか、建物建設の騒音とか、皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願ひいたします。

臨床研究の面では、感染症、アレルギー、糖尿病、聞こえ(聴覚)などの研究を今年も続けます。昨年東海テレビ系列で、当院の食物アレルギー治療方法である経口免疫減感作療法が取り上げられました。卵アレルギーやミルクアレルギーの人が、極めて少ない量から食べ始めると、毎日温泉卵が1個食べられるように、牛乳200mlを飲めるようになるという画期的な治療です。基礎的な面からのアプローチも進めています。

インフルエンザは難しい感染症です。一昨年は新型インフルエンザウイルス騒動で大変でしたが、昨年のインフルエンザウイルスはおとなしかったようです。さて、今年はどうなるでしょう？高齢の方では、インフルエンザワクチンだけではなく高齢者向けの肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス®)と一緒に受けると、インフルエンザによる肺炎が予防されます。当院では、子どものワクチンだけではなく、高齢者のワクチンの研究も進めています。

昨年からはじめたQC活動を今年は充実させたいと思っています。現場で感じる使いにくさや不統一を、使いやすくし時間のロスを減らすのがQC活動です。少しの工夫がロスを減らすと思います。効率の追求が忙しさにつながらぬよう工夫してください。

教育研修の面では、今年もスタッフの育成につとめます。昨年は教育研修担当の専任看護師長を配置しました。この看護師長の指導のもと、院内研修の充実はもちろんのこと、学会にはできるだけ発表に行ってください。医療安全チーム、感染対策チーム、栄養対策チーム、褥瘡対策チームの皆さん、今年も活躍を期待しています。

次ページに続きます▶▶▶